



MBニュース



丸松物産株式会社

【中国産孟宗筍情報】

日本でおなじみのタケノコであります中国産孟宗筍の今年の生産は、3月25日に開始されました。

今年も昨年と同様に、生産地での気温が3月下旬になっても低かった影響で、例年より遅れる結果となりました。

また、低温の影響もさることながら、先月号でもお伝えしました通り、労働力の確保が依然厳しい状況となっており、タケノコ農家においても収穫する人手が不足している為、今年は、昨年同時期に比べると、その収量はおよそ15%程度減少しているとの情報です。

現在、その生産はピークを迎えておりますが、4月いっぱいまでの生産量の増減によって、新物価格に大きな影響を与えるものと考えられます。後日改めて営業より案内させていただきます。



※孟宗筍山



※竹林

【中国における福島原発事故の影響】

巨大地震の被害を受けた東京電力の福島第一原子力発電所の放射能漏れによって、海外への影響が出ております。



中国広東省では、消費者の日本産品(食品や化粧品)に対する考え方が、安心の買い溜めから警戒心へと変わってきており、多くのスーパーでは、それを打開する為に、店頭にある全ての在庫は、震災前のものだという説明をしている状況との事でありました。しかしながら、日本産でなくても日本のブランドということだけで、敬遠されてしまう傾向のようでもあります。

また、同発電所にて放射性物質で汚染された水が海へ流出するという事態が発生した中で、4月25日の広州日報では、「プラスチックゴミは、毒化し、最終的に人の胃袋の入ってくる」という見出しで、環境破壊に対する警鐘を鳴らしています。

その内容は、「我々は一本のペットボトル飲料を飲むにつれ、大自然において何百年も消えないプラスチックゴミをもたらすことになっている事。また全世界では、毎年約2億6千万トンものプラスチックゴミが生じており、しかも、その大半が海に流出されている現状において、海産物がそれを餌と間違えて摂取してしまい、毒素を帯びた海産物として、いずれは我々の食卓に戻ってくる」というような内容でありました。

中国国内では、急速な発展を遂げている一方で、この度の震災事故の影響で、このような環境保全について、改めて見直されているようです。

【リニューアル商品情報】

	商品名	昆布サラダゆず風味 1kg×6袋×2合	
	商品特徴	従来品の使用原料ゆずフレーバーから、ゆず皮に変更し、更に風味を良くしました。新たに生まれ変わった当商品をご賞味ください。	
	主要原材料	えのき茸、昆布、なめこ、赤ピーマン	
	賞味期限	製造日より4ヶ月(常温保存)	

以上